

不妊治療のいま・これから

「10組に1組のカップルが不妊」といわれる日本。「不妊」は決して珍しい問題ではありません。
 「不妊かもしれない・・・」と思ったとき、多くの人が医療機関を訪れます。
 そうして始まる「不妊治療」とはいったいどのようなものなのでしょうか。
 本セミナーでは、不妊治療を始める前、または治療を選択するに際して、
 知っておきたい知識を提供するとともに、
 不妊をめぐる課題について考えるセミナーです。
 パートナーとのご参加もどうぞ。

参加対象

不妊や不妊治療を
めぐる課題に
関心のある方

日時 2009年 **11月8日** 日 回 ~ **12月6日** 日 回 **全3回**

場所 **ドーンセンター** (大阪府立男女共同参画・青少年センター) **大会議室**
 大阪府大阪市中央区大手前1-3-49

定員
40名

参加
無料

11月8日(日)

14:00~16:00 (大会議室1)

不妊治療における自己決定
 ~納得の選択をするために~

講師 **まさのあつこさん** (ジャーナリスト)

英会話学校講師、コンサルティング会社勤務、中南米放浪等を経て、徳島県木頭村のダム計画反対運動を支援。この活動をきっかけに、国会議員の政策秘書などを務める。2003年に退職、不妊治療生活に入る。病院探しからはじまる不妊治療体験を著書『日本で不妊治療を受けるということ』(岩波書店)、共著『あなたらしい不妊治療のために:カウンセラーと経験者からのメッセージ』(保健同人社)、渡辺淳一著『あきらめるのはまだ早い!』(講談社)の患者座談会、女性誌等で発信。現在は、公共政策を中心テーマに執筆活動中。

11月22日(日)

13:30~15:15 (大会議室3)

不妊治療をめぐる現状と課題
 ~医療とのつきあい方を考える~

講師 **森 明子さん** (聖路加看護大学教授)

聖路加看護大学教授(母性看護・助産学研究室)。日本生殖看護学会理事長などを兼務。所属学会は日本生殖医療心理カウンセリング学会、日本生殖医学会など。看護師、助産師、保健師。聖路加看護大学卒業後、同大学大学院博士前期課程修了、博士(看護学)取得。聖母女子短期大学などを経て2006年より聖路加看護大学教授。共著に『あなたらしい不妊治療のために:カウンセラーと経験者からのメッセージ』(保健同人社)。女性・患者中心のケアを一貫して追及している。

12月6日(日)

15:30~16:30 (大会議室3)

不妊相談、30年の経験から

講師&ファシリテーター **赤松彰子さん** (助産師・保健師)

日本赤十字女子短期大学看護学科卒業後、兵庫県立保健学科・助産学科を卒業。三木市役所保健師を7年間、開業産婦人科医院相談室にて約30年間相談業務を担当。2002年より三木市男女共同参画センター女性問題相談員、三木市保健センター委託保健師として勤務。フリースペースオシャベリルーム里の家を20年間運営。

14:00~16:30 (大会議室1)

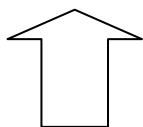
“不妊”におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツ
 ~当事者グループの活動から~

講師&ファシリテーター **阿部めぐみさん** (フィンレージの会スタッフ)

不妊に悩む人のためのセルフヘルプ(自助)グループ「フィンレージの会」スタッフ。36歳で通院・各種検査、37~38歳で体外受精にチャレンジするが撃沈。3回目の体外受精の後、何もかもイヤになり、「不妊に良い」といわれたモノは一切やめる。39歳の時、知人の紹介でフィンレージの会の企画に参加、1年後にはスタッフに。「周りが妊娠・出産・子どもに恵まれ、羨ましい気持ちを通り越して、妬ましい気持ちになり、もがき苦しみました。そんな私を救ってくれたのがフィンレージの会です」。不妊治療体験を経て得たもの、今の心情などをお話していきます。

※リプロダクティブ・ヘルス/ライツ:性と生殖に関する健康と権利

人間が安全で満ち足りた性生活を営み、妊娠・出産に関する自由(子どもを産むのか、産まないのか、産むならばいつ、何人、だれと、どこで等)を享受し、自分の性と生殖について身体的・精神的・社会的に満足できる状態であることと、それを守る権利。



FAX 06-6910-8624

「不妊治療のいま・これから」申込書

ふりがな		
氏名		
連絡先	住所 〒	
	TEL	FAX
	E-mail	
参加動機		

※申込みにあたってお預かりする個人情報は、本講座運営上の目的以外で使用する事はありません。

■ 申込方法

下記事項をご記入のうえ、往復はがき・FAX・E-mailにてお申込ください。
(ホームページからも申込み可)

- ①「不妊治療のいま・これから」 ②氏名(ふりがな)
- ③連絡先(住所・電話・FAX・メールアドレス) ④参加動機

※往復はがきの場合は「返信」欄に住所・氏名を明記してください。

【締切日】10月30日(金) 必着

※定員に余裕がある場合は、締切り後も受け付けますのでお問合せください。

※
政治活動・宗教活動に伴う勧誘、営利目的の物品販売等、他の参加者に迷惑を及ぼすおそれのある目的での参加はご遠慮ください。

【お問合せ・お申込】

財団法人 大阪府男女共同参画推進財団
不妊専門相談センター事務局

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49
ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)
TEL 06-6910-8588 / FAX 06-6910-8624
E-mail jigyo@dawncenter.or.jp
URL : <http://www.dawncenter.or.jp>
<http://www.ogef.jp>



・京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅 1番出口から東へ350m
・JR東西線「大阪城北詰」駅 2号出入口から西へ550m
・市バス「京阪東口」からすぐ



不妊専門相談センター
<http://www.ogef.jp/funin-osaka/>

不妊専門相談センター事業は、(財)大阪府男女共同参画推進財団が大阪府の委託を受けて企画・運営しています。